



発行・京都障害者スポーツ振興会
題字 芝田 徳造

「卓球バレーとの出会い」

鹿児島県 中間五月男

私と卓球バレーとの出会いは3年前でした。鹿児島県障害者スポーツ協会の方が、私の勤める職場に「卓球バレーを是非やってみないか」と卓球バレーの用具一式を置いていかれたのです。それからまもなく私は施設内の異動で、障害者スポーツを担当することになりました。このようなことが重なって、卓球バレーに関わることになったのです。

ところがいざ取り組もうとしても、道具はあるものの、やり方が全く分からないままでした。これではどうしようもないので鹿児島県障害者スポーツ協会の職員に卓球バレー教室を開いて欲しいとお願いしました。実際に見学してみるとやり方は簡単そうでしたが、いざプレーしてみるとラケットの角度

卓球バレーの醍醐味は、「打ち合うことがとても楽しい」ということです。審判をしていると雰囲気がよく伝わってきます。打ち合っている最中に「ピ」と笛を吹くと、みんなが「あれ？ どうして？」という表情に代わります。直ぐに「ホールディング」と伝えると、ガツカリした表情になります。やはり卓球バレーは打ち合うことが一番の楽しみなのです。

鹿児島県の卓球バレー大会は、年1回、約40チームが参加して鹿児島県自立交流センターで開催されています。障害別では肢体障害者のチームが大半を占めています。今後、県内に卓球バレー人口が増えようと努力して行かなくてはと思っています。将来、京都の卓球バレー大会のような盛大な大会が鹿児島でも開催できることが今の私の夢です。

私は昨年から審判として全京都卓球バレー大会に参加させてもらって、審判としての技術を深めています。また、大会スタッフとして参加チームと交流し、とても楽しい経験をさせてもらっています。今

私の気持ちは「卓球バレー」と出会えてとても幸せ」ということです。これからもかわり続けていきたいと思えます。


第31回 全京都障害者スポーツ大会 卓球バレー大会

日時 平成23年6月19日
場所 京都府立体育館

一般の部
一位 キララ(京田辺市)
二位 ウララ(京田辺市)
三位 虹の会A(京都市)

施設の部
一位 西陣工房(京都市)
二位 洛南A(京都市)
三位 あしたーるA(南丹市)

学校の部
一位 西総合D(京都市)
二位 鳴滝C(京都市)
三位 バンブーファイターズ(京都市)



| | | | | | |
|---|----|-------|----------------------------------|---------------------|--------------------------------|
| 行事予定 | 8月 | 21(日) | 第31回全京都障害者総合スポーツ大会 水泳大会 | 京都市障害者スポーツセンター | 来月の つどいは 9 / 11 第2日曜日 |
| | | 28(日) | 城陽障害者スポーツのつどい | サン・アビリティーズ城陽 | |
| | 9月 | 4(日) | 第27回全京都車いす駅伝競走大会 第21回ミニ駅伝競走大会 | 丹波自然運動公園・周辺道路 | |
| 京都障害者スポーツ振興会ホームページ | | | | TEL/FAX075-712-7010 | |
| http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/ | | | | (2011年7月17日に一部更新) | |

スポ振ルネサンス (40)

「心でつなぐ活動を」

京都障害者スポーツ振興会

副会長 水谷 裕

スポ振ルネサンス(27)とスポ振ルネサンス(34)、(37)において、平成24年3月11日に新たに実施される「京都マラソン」の車いす競技の部についての苦言や、現状経過を書いてきました。

前回書きましたスポ振ルネサンス(37)では、4月末に、再度、準備委員会事務局から会長代行に会いたいとのことで、私と金子事務局長とで会った中で振興会の提案も含めて検討したが、開催までの時間的制約やコストが整理にかかる人的確保が困難等々の理由から、車いす競技の部のハーフ実施は無理で、今回は当初案どおり9キロメートルということ、そして、今後の課題として残す旨を告げられたこと。

また、これから立ち上げられる実行委員会に入って欲しいと依頼があったので、5月の常任理事会において議論をし、振興会としての意見を主張すべく、参画して行くことを意思決定したところまで報告しました。今回は、その後の動きについて書きたいと思いません。

この後、5月中頃になつて、再度、準備委員会事務局から会長代行に会いたいとの申し入れがあり、私と金子事務局長とで会いました。

その中で、準備委員会事務局から今回は車いす競技の部を見送り、次回以降に考えるとの思いもよらない言葉が飛び出して唖然としました。

振興会が少しでもより良い方向に進めたいと意見を出したばかりに、そんなことになるとは選手に申し訳けなく、本意ではないと再考を求めましたが、もう変えられないとのことでした。しかし、何故かそれから3日後、準備委員会事務局から電話があり、やっぱり、車いす競技の部を行うとの連絡があつたのです。

5月16日(月)には、ロイヤルホテルにおいて第一回実行委員会が開かれ、正式に実行委員会が立ち上げられるとともに、「京都マラソン」の実施が承認されました。

5月末に、再度、実行委員会事務局から申し入れがあり、私と川端副会長とで会いました。

車いす競技の部のコース・距離について説明を受けました。それによると、西京極陸上競技場から嵐山

の三条清滝道駐車場までの約6kmで行いたいというものでしたので、6月理事会で図ると回答しました。

そして、6月理事会で協議し、理事会の意思決定として、今回については、提案されたコースで了解するが、今後、協議を重ねていきたいと改めて要望をしました。6月末には、実行委員会事務局から第2回実行委員会を前に、車いす競技の部の協議、打ち合わせがしたいと申し入れがあり、私と金子事務局長とが会いました。

車いす競技のコース案について、安全面を考慮して嵐山弧線橋手前をゴールとする5.4キロと5分前スタートが提示されました。これに対し、タイム制限を設けないことと、ランナーが車いす選手に追いついても排除しないことなどを申し入れました。

そして、コース設定について今後の課題として残す旨を告げられたことに対し、今後、協議を重ねていくことと確認をしました。「京都シティハーフマラソン」の時、5キロという距離を伸ばして欲しいと毎回言い続け、変わらなかったこともあり、素直に受け取れないことも事実であり、次

回に向けて実行委員会としての共通認識にすべく第2回実行委員会の席上において、車いす競技のコースに係るこれまでの振興会との協議経過を報告してもらうことについても確認しました。

しかし、7月12日の国際会館で開かれた第2回実行委員会では、実行委員会の席上において、車いす競技のコースに係るこれまでの振興会との協議経過を報告してもらうことを確認したはずだったのに、約束を守ってもらえませんでした。

実行委員会の後、苦言を呈すると、「すみません」と「次回実行委員会には」の言葉だけで、あとはなしのついでです。

実行委員会事務局は、団体との約束をどう思っているのでしょうか？

京都障害者スポーツ振興会は、そんなに軽い存在なのではないでしょうか？

とは言っても、障害のある人々のスポーツ活動を支援し、振興をする「運動体」としての立場から方向は明確で、今後も、障害のある人々の立場から、コース設定の再考を強く求めて行かなければならないと思います。

第31回 全京都障害者スポーツ大会 卓球大会

男子

- 上肢 神山利彦(西京区)
- 下肢 蔭山弘一(上京区)
- 片マヒ 森下富夫(舞鶴市)
- 脳性麻痺 梅田一郎(舞鶴市)
- 車いす 菱田年弘(亀岡市)
- 聴覚 藤本保典(北区)
- 視覚アイマスクなし 米澤浩一(右京区)

- 療育A 福島強士(宇治市)
- 療育B 石坂達也(宇治市)
- 療育C 高橋利也(鳴滝総合)
- 療育D 金川飛翼(宇治市)
- 療育E 虫賀貴史(宇治市)
- 内部 中西利一(山科区)
- 精神 菊井 陸(南区)

女子

- 下肢 牧野清美(伏見区)
- 脳性麻痺 矢野美也子(右京区)
- 車いす 森 ふさ(西京区)
- 聴覚 岩佐喜志子(山科区)
- 視覚アイマスク使用 三浦豊子(下京区)
- 療育 八巻春香(城陽支援)
- 療育 高安優希(向日ヶ丘)
- 精神 野村恵美(伏見区)